



ふねあいのひろば

第22号



岡山市・洛陽市友好都市締結25周年記念「岡山市民友好訪中団」
固い握手を交わす高谷岡山市長（左）と連洛陽市長（中央）片岡岡山市日中友好協会会長（右）

ごあいさつ

会長 野津 喬

会員の皆様におかれましては、平素から当協議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、洛陽市との友好都市締結25周年の節目の年に当たり、さらなる友好交流の発展に向けて幅広い分野での交流事業が活発に行われました。4月には、100名を超える「岡山市民友好訪中団」が洛陽市を訪問し、3年ぶりの友好交流の再開を喜び合うとともに、経済分野での新たな交流も始まりました。洛陽市からも「洛陽市政府友好訪日団・経済視察団」をはじめ、「洛陽市医療視察訪日団」などの訪問団が相次いで本市を訪れ、積極的な民間交流などを通じて両市の友好交流の進展に大きな成果をもたらしました。

また、富川市、新竹市など他の友好交流都市とも着実な友好交流の進展を図ってまいりましたが、特に「子ども国際ホームステイ」では世界6都市から参加した82人の青少年が日本の文化体験や地域の方々との交流を通じて相互理解と友情を育むことができました。

本年は、岡山市が全国で3番目に古い海外都市縁組としてサンノゼ市と姉妹都市締結をして50周年を迎えることから、当協議会でも市とともに「未来につながる継続的で実り多い交流」をテーマに記念事業に取り組むこととしております。

まず、4月末から5月始めにかけ、「岡山市民親善訪米団」の派遣を企画しており、広範な市民交流や産学連携による経済交流の新たな枠組みづくりが期待されます。また、これに合わせて、中学生をサンノゼ市へ派遣する「中学生海外生活体験」を実施するなど、次代を担う青少年の交流を進めることとしています。

さらに、先頃、岡山市外国人市民会議が「外国人市民にも暮らしやすい岡山市をめざして」と題する提言書を市へ提出されました。多文化共生社会の実現に向け、当協議会としても今後積極的な取組が必要であると考えております。

今後とも会員の皆様方をはじめ、多くの市民の方々とともに岡山市の国際化を進めてまいりたいと考えておりますので、一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

● ● ● 目 次 ● ● ●

洛陽市との交流

- ・岡山市・洛陽市友好都市締結25周年記念
岡山市民友好訪中団…………… 1
- ・洛陽市政府友好訪日団・経済視察団…………… 2
- ・第13回岡山市技術研修生…………… 2
- ・第16回洛陽市技術研修生…………… 3

サンノゼ市との交流

- ・岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結50周年
～未来へつながる継続的で実り多い交流へ～…………… 3

サンホセ市との交流

- ・中米コスタリカ展…………… 4

富川（ブジョン）市との交流

- ・岡山市民友好親善訪韓団…………… 4
- ・岡山市・富川市職員相互派遣…………… 5

新竹市との交流

- ・岡山市民親善訪問団…………… 5
- ・岡山市・新竹市職員相互派遣…………… 6
- 富川市・新竹市との交流**
- ・富川市民友好親善訪問団・新竹市親善訪問団…………… 6
- 第12回岡山市子供海外派遣…………… 7**
- 子ども国際ホームステイ in OKAYAMA 2006…………… 9**
- 友好交流サロン**
- ・外国語会話教室…………… 11
- ・国際交流ふれあい講演会…………… 12
- ・日本語教室、「あくら」の発行…………… 13
- ・インターネットサービス…………… 13
- ・外国語書籍・雑誌の閲覧・貸出…………… 13
- ボランティア活躍記…………… 14**
- ホットミニ情報…………… 15**
- ふれあいトピックス…………… 15**

洛陽市との交流

◎岡山市・洛陽市友好都市締結25周年記念 岡山市民友好訪中団

(平成18年4月14日～4月18日)

本市と洛陽市とは、昭和56年4月に友好都市締結以来、学術・文化・スポーツ等幅広い分野において交流を行ってきました。平成18年、締結25周年を迎えるにあたり、岡山市長を団長とする「岡山市民友好訪中団」を派遣しました。



洛陽市政府庁舎前で洛陽市長（写真左）と



洛陽市政府庁舎前で記念撮影



国色牡丹園視察



世界遺産の龍門石窟視察

◎洛陽市政府友好訪日団・経済視察団

一行は本市滞在中、岡山市長、岡山市議会議員を表敬訪問するとともに経済セミナーへの出席、市有施設や企業の視察などを行いました。

◆洛陽市政府友好訪日団（平成18年7月3日～7月5日）



洛陽市長が岡山市長を表敬訪問



後楽園の茶室にて



歓迎夕食会

◆洛陽市経済視察団（平成18年7月3日～7月6日）



経済セミナーの様子



企業視察

第13回岡山市技術研修生帰国

平成18年4月から1年間の中国洛陽市での研修を終えて帰国した第13回岡山市技術研修生渡邊克美さんに洛陽での生活や交流の思い出を綴っていただきました。

「在洛陽岡山をPRし隊！－永遠忘不了！（いつまでも忘れない）」

渡邊 克美（わたなべ かつみ）

昨年4月から中国洛陽市に派遣されていましたが、任期を終え無事帰国しました。

洛陽市は9つの王朝で都が置かれた古都で、上海から飛行機で2時間。人口646万（でも日本人は十数人！）岡山市の友好都市で研修生が相互派遣されています。大陸性気候、中国語も英語もカタコト、海外一人暮らし・・・渡航前は不安いっぱい！それが素晴らしい教官や友達に恵まれて、想像をはるかに超える充実した1年となりました。

友好都市締結25周年。岡山・洛陽両市長のスピーチに始まる歴史的セレモニーにも臨席でき光栄でした。夏には洛陽市訪日団の来岡、「子供海外派遣」に洛陽が復活。洛陽をめぐるうれしいニュースが続きました。私は大学で学びながら「岡山をPRし隊！」隊長兼唯一の隊員として友好・交流のお手伝い。さらにボランティアで先生の翻訳添削、日本語指導も。学生にとって「ママと同年」「僕の2倍の歳」の私ですが、友達が友達を連れてきて宿舎は連日交流サロン。みんなから「クーメイ（克美）！」と呼ばれ可愛がってもらった研修生活は一生の宝物です。

先生や友達とは家族同様の関係となり、「クーメイ、夏には中国に帰ってくるか？」別れはお互い涙、涙・・・帰国後も「中国の息子や娘たち」とメールでやり取りし、変わらぬ友情に感激すると同時に、インターネットの便利さ、「地球村」を実感しています。

4月よりまた学校現場に戻ります。20数年ぶりの大学生、バラ色の日々の「クーメイ」から、「渡辺先生」に戻れるかドキドキ！です。これからもこの貴重な経験を生かし、微力ですが友好・交流、「岡山（日本）ファン」を増やすお手伝いをと考えています。最後になりましたが、お世話になりました日中両国の皆さまに心より感謝申し上げます。

所属
岡山市立富山中学校教諭
研修期間
平成18年4月から1年間
研修分野
中国語



大学で「中国の息子」たちと



大学の修了証授与式

洛陽市技術研修生

岡山市洛陽市技術研修生相互派遣事業は、現地の優れた技術などを習得するとともに、市民との友好親善、相互理解の促進を目的に平成5年に始まりました。(平成5年以前は洛陽市技術研修生の受入のみ)今回は第16回目の受入となります。

「岡山大学研修についての感想」

李 九革 (り きゅうかく)

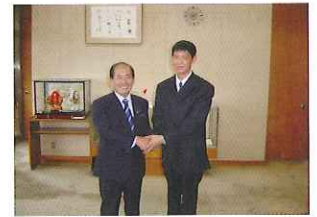
私は洛陽大学外国語学院で副院長兼英語科の助教授をしております。洛陽市の友好都市である岡山市にお招きを受け、洛陽市政府外事弁公室及び洛陽大学の派遣によって、2006年9月末に岡山市へ参りました。現在岡山大学留学生センターの指導教師松田文子先生の授業を受けており、日本教育学の進んだ教育理論と教育方法を研修しております。そのほかに週に15時間の日本語を勉強しております。

岡山に来てから、生活面においても勉強面においても、岡山市役所と岡山市日中友好協会から大変お世話になっており、非常に感謝しています。

2006年10月に高谷茂男岡山市長と面会させて頂きました。市長のようなお偉い方がご多忙の中を、私のような一般市民とお会いして下さい、非常に光栄に思っております。

岡山大学で、私は留学生センターの日本語勉強会に参加しています。教材は《日本語1—2冊》《250常用漢字第一冊》です。ご指導頂いている教授は非常に親切で熱心な方です。毎回授業の後半は試験をしており、厳しくチェックをして下さいます。最後の総成績を評定するのに出席率も参考にしています。おかげで、私の日本語レベルも速やかに高まっています。

現在岡山で充実した日々を送っています。私は、日本語をマスターし、帰国後日本人は中国人に対して熱い友情を持っていることを伝え、両国の友好の為に尽力したいと思っております。私は両国の友好の架け橋になりたいのです。



市長表敬訪問



岡山市日中友好協会の総会に出席

所 属
洛陽大学外国語学院副院長
研修期間
平成18年9月30日から1年間
研修分野
日本語、日本語学、
国際理解教育論

サンノゼ市との交流

◎岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結50周年

～未来へつながる継続的で実り多い交流へ～

今年、昭和32年5月に岡山市が全国で3番目にサンノゼ市と姉妹都市縁組をして、50周年という意義ある節目を迎えます。

この間、両市とも大きく様変わりしました。人口は、岡山市が25万人から69万人に、また、サンノゼ市は14万人から95万人へとサンフランシスコを凌ぐ都市に発展しています。町の姿も、姉妹都市縁組当時は、両市とも田園都市としての性格が色濃く出ていましたが、今日、岡山市は中四国の中核拠点都市として、サンノゼ市はアメリカのIT産業を支えるシリコンバレーの中心として大きく飛躍しています。

しかし、この半世紀変わらぬものは、先人たちが営々として培ってきた固い友情の絆です。この両市の姉妹都市関係の来し方50年を振り返るとともに、今後さらに発展させていくため、次のような記念事業に、多くの市民の方々のご参加もいただきながら取り組んでいきます。

●半世紀の交流を振り返りながら、新たなパートナーシップを築く事業

- ①市民訪問団の相互派遣と各種記念事業の展開
 - ②次代を担う若者の交流(中学生海外生活体験事業、ジュニアオーケストラの合同演奏等)
- その他

●実り多い交流を進めるための新たな出発点とする事業

- ①経済交流等のための訪問団の相互派遣
 - ②お互いに学び合う交流(NPO交流等)
- その他



←新しく建てられた
サンノゼ市庁舎



サンノゼ市の日本友情
庭園友情門の落成式⇒

サンホセ市との交流

◎「中米コスタリカ展」 (平成19年1月24日～2月3日)

岡山市の国際友好交流都市であるコスタリカ共和国サンホセ市などの写真や工芸品等を紹介する展示会をまちかど美術館サンホセで開催しました。



コスタリカ伝統のカレータ(牛車)と様々な民芸品など

富川(プチョン)市との交流

◎岡山市民友好親善訪韓団 (平成18年5月4日～5月7日)

平成14年の友好交流協定の締結以来恒例となった市民友好親善訪韓団65名を派遣し、ボクサゴル芸術祭への参加等を行いました。



富川市企業見学



整備された市内中心部



富川市表敬(市役所にて)



←ボクサゴル芸術祭の1コマ



富川商工会議所前にて⇒

岡山市・富川市職員相互派遣

「文化都市・経済都市 富川市から」

佐藤 宣之（さとう のぶゆき）

研修期間 平成19年1月10日～3月19日
研修分野 市政全般、スポーツ行政施策、
文化振興事業、経済施策、都市計画、
民間委託など

私が富川市に来てから早くも20日が経ちました。現在は体育青少年課を始めとするいくつかの部署で、スポーツ・文化振興行政を中心とした分野について研修を受ける日々を過ごしています。担当部署にて研修を受け、関連施設に行き、担当者の方々から詳細な説明を受けています。市民の河（家庭排水を浄水して作った川）やテクノパーク（アパート型工業団地）に代表されるように、53.44km²の狭い面積を克服するアイデアや、環境に対する配慮等を様々な箇所で見ることが出来ます。また富川フィルハーモニーオーケストラや富川国際映画祭等、富川独自の文化を育成しようとする姿勢がとても印象的です。そして、問題点や苦勞話等については、岡山市と共通する部分も意外と多く、共感（意気投合？）させられることもしばしばです。

今後は、研修についてはもちろんですが、プライベートな時間等も、陽気で情の深い富川の人たちと多く接して、交流を深めていきたいと思っています。



富川総合運動場
にて

「岡山にて…」

朴 丁浩（ぱく じょんほ）

研修期間 平成18年12月19日～平成19年3月16日
研修分野 節約都市目標、エネルギー節約の推進

岡山での研修が1ヶ月を過ぎました。。。

私が岡山への派遣職員を希望した理由は、平素から隣国日本に対して関心があったからです。そして派遣職員の募集を知り、志願しました。日本へは3度旅行したことはありましたが、長期間日本に滞在するのは今回が初めてで、とても不安な気持ちでした。

しかし国際課職員、そして富川市にて派遣職員として活躍された皆様の助けにより、さほど苦勞することもなく、岡山での生活に慣れ親しむことができました。

先日、平成14年度派遣職員の三宅氏のお宅へお邪魔した際には、直接餅を搗いて食べるという経験をしました。今では韓国の田舎でもなかなかみることが難しくなった餅つきを日本で体験することができ、昔の懐かしい思い出が蘇るようでした。また、現在富川市にいる佐藤氏（今年の1月から3ヶ月間、富川にて研修）は、プライベートでも車で岡山の名所などを一緒にまわってくださいました。

職員の皆様の温かいお気持ちを感じつつ、派遣終了後に韓国に帰った後も、この岡山での経験を忘れることはないでしょう。



餅つきを体験
(右が朴さん)

※両氏には研修期間中に執筆を依頼しました。

新竹市との交流

◎岡山市民親善訪問団

（平成18年10月18日～10月21日）

新竹市とのさらなる市民交流を深めるため、総勢87名の訪問団を派遣し、交流行事などへ参加しました。



⇐青空の下で
記念撮影



新竹市主催
歓迎夕食会にて⇐

岡山市・新竹市職員相互派遣

「新竹にて」

遠部 明弘 (おんべ あきひろ)

研修期間 平成18年10月11日～12月10日
研修分野 会計事務、防災防災対策、
公有財産管理など

新竹市は歴史的な建造物と、先進の半導体企業が立地するサイエンスパークなどの新旧が混在する、人口38万人の発展を続けている都市です。岡山市とは平成15年4月から国際友好交流協定を締結しており、職員の相互派遣は今回で2回目となります。

新竹市は大変活気がある街で、街中のあちこちで、おいしい料理を出す店とそれを食べ歩く人たちを見ることができます。

こちらの市政府に来て感じたのは、先進の制度や技術を積極的に取り入れていく努力と熱意です。台湾の他都市と比べて手厚い社会福祉制度や、防犯・防災対策、行財政改革への積極的な取り組みなど勉強になる点が多々ありました。

また、新竹市の人々の温かさには、一人で海外にいる者にとって大変ありがたく、公私とも助けられることが多くありました。このような都市と国際友好交流都市であることを誇りに思い、今後も両市が切磋琢磨してさらなる発展を遂げられるよう願います。



財政局にて
(白いシャツが
遠部さん)

研修期間中に執筆を
依頼しました。

「岡山にて」

頼 誌詳 (らい ししょう)

研修期間 平成18年10月12日～12月10日
研修分野 農林業、漁業、牧業政策など

初めて日本に来ることができて非常に嬉しく思います。でも日本語ができないからとても緊張しました。

岡山へ来る前、林市長から、岡山市はとても美しく進歩している都市だと聞きました。岡山市民はみんな温かく親切です。また、高谷市長はとてもよいリーダーで尊敬に値すると言っていました。

国際課の皆様には温かく歓迎していただき、大変お世話になりました。また経済局の皆さんもとても協力的でした。岡山市では、先進的な温室メロン、苺や葡萄の栽培施設、効率的な流通センターなどを見学しました。特に印象的だったのが葡萄農家です。温室内には一様に美しい葡萄がたわわに実っており、その美しさは「食べ物」というより「芸術品」の域に達していました。岡山市で研修することができて大変光栄に思います。

2ヶ月間はあっという間でした。岡山市役所の皆様には大変お世話になりました。高谷市長のご配慮に感謝いたします。最後に皆様のご健康とご活躍を祈念いたします。



葡萄の温室にて
(中央が頼さん)

富川市・新竹市との交流

◎富川市民友好親善訪問団・新竹市親善訪問団

(富川市：平成18年8月4日～8月6日、新竹市：8月3日～8月7日)

富川市から「富川市民友好親善訪問団」、「富川市公演団」2団体97名が、また新竹市からは「新竹市親善訪問団」37名が来岡し、「おかやま桃太郎まつり」への参加など市民交流を行いました。

〈富川市〉



⇐パレードに参加

オウンリオン舞踊団
による公演(岡山ドーム) ⇨



〈新竹市〉



⇨おかやま桃太郎まつり
パレードに参加

岡山ドームでビーフンの
屋台を出店⇨



海外に新しい
家族ができた!!

第12回

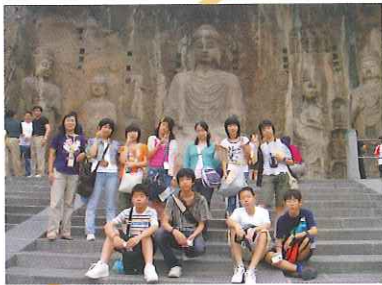
笑顔が共通語

岡山市子供海外派遣

今回で12回目となる岡山市子供海外派遣事業では、中国・洛陽市、韓国・富川市、台湾・新竹市の3都市に岡山市内の中学2・3年生を派遣しました。4回行われた事前研修会にて、ホームステイのマナーや簡単な会話の指導を受けた生徒達は、派遣先で一般家庭にホームステイし、現地の学校や市内視察をするなどし、学習と交流を深め、国際的視野を広めるとともに、異文化に触れる貴重な機会を持ちました。



Luoyang



龍門石窟の前で記念撮影

派遣先：洛陽市（中国）
派遣人数：10名
派遣期間：7月25日～8月4日



洛陽市内見学



洛陽市内の桃太郎像と高層ビル



ホストファミリー宅にて

Bucheon



富川市役所前で記念撮影

派遣先：富川市（韓国）
派遣人数：9名
派遣期間：7月25日～8月4日



ハングルの看板の中を散策



韓国の屋台の味をバク！



うちわ作りに挑戦



Hsinchu



忠烈祠の門前で記念撮影

派遣先：新竹市（台湾）
派遣人数：8名
派遣期間：7月25日～8月4日



料理教室



消防体験



卓球で交流

International Youth Homestay in OKAYAMA 2006



子ども国際ホームステイ in OKAYAMA 2006

「子ども国際ホームステイ in OKAYAMA 2006」は、岡山市の国際友好交流都市を中心とした都市の子どもたちが、岡山市でのホームステイ受入や宿泊研修などを通して、相互理解を深めることを目的に実施しました。参加者は、中国・洛陽市10名、韓国・富川市13名、台湾・新竹市10名、インド・プーネ市10名、アメリカ・ペンドルトン市5名、岡山市34名の合計82名です。

8月9日 (水)

歓迎会 ようこそ岡山へ!!

出会いが大切。
自分から積極的にはなしかけよう!!

岡山参加者と海外参加者の初顔合わせの日です。自分とペアになる海外のお友達にお菓子のレイを持って行って歓迎しました。そして同じテーブルに設けた席へ案内し、お互いに自己紹介をしたり、自分の家族を紹介したりしました。



8月10日 (木)

いよいよスタート!

しっかり友達になろう!



午前中は海外参加者のオリエンテーション。午後からは岡山参加者も合流して、「はじめまして」のつどいをおこないました。アイスブレイクをはじめ、仲間づくりのいろいろなゲームをしました。自分から話しかけて友達をたくさん作りました。

今夜は、ホストファミリー宅での初めての夜。家族みんなとの出会いを大切にして、楽しい夜を過ごしました。

8月11日 (金)

日本文化を体験しよう! 伝えよう!

曹源寺・富山公民館へレッツ ゴー!

グループに分かれて座禅、茶道、水墨画、昔遊びなどのコーナーを回り、いろいろな日本文化を体験しました。お昼には地元郷土料理でもあるばら寿司をおいしくいただきました。協力してくださったボランティアの皆さん、ありがとうございました。



8月12日 (土)

交流合宿！仲間発見！

大自然の中で、
たっぷり遊ぼう、
たっぷり語ろう！



ホストファミリーが作ってくれたお弁当を持って、いざ大山へ。今日明日は1泊2日の交流合宿の日です。バスに揺られること3時間。やっと目的地へ。大山はあいにくの天気芝生での大運動会をあきらめ急ぎよ室内でのゲーム大会に変更しました。しかし、みんな大いに盛り上がり、優勝目指してがんばりました。夕食は精進料理。口にあうかな？ご飯を食べたら宿舎前の広場でキャンプファイヤー。各都市ごとの出し物をみんなで楽しみました。

8月13日 (日)

交流合宿2日目！みんなが仲間！

みんなが主役！

大山散策のウォークラリーをしました。チームごとにメンバーがそろったら出発です。地図のチェックポイントをすべてまわり、決められた時間の間に帰ってこなくてはなりません。チェックポイントで出される課題の点数の多いチームが優勝です。終わったら1・2・3位の表彰をしました。



8月14日 (月)

ホストファミリーと過ごす1日！

これからもずっと家族でいるために、
家族としての思い出をいっぱい作ろう！

どんな1日を過ごしたのかはそれぞれの心の中…



8月15日 (火)

出発の日 また会おう！

みんなトモダチ、ずっとトモダチ

あっという間の1週間。夏休み一番の思い出、忘れられない出会いとして、みんなの心の中に残ることでしょう。

そして、また、いつかどこかで会えたらいいね。
SEE YOU AGAIN !



友好交流サロン

外国語会話教室

「ハンゲル」(入門・初級)、「スペイン語会話教室」(入門・初級)、「中国語会話教室」(入門・初級)、「シニア英会話教室」(水曜教室・金曜教室)の8教室では、たくさんの受講生の皆様が毎回楽しく勉強をしています。特にシニア英会話はキャンセル待ちがでるほど人気があります。

ハンゲル(入門・初級)



金 亨振先生

즐기면서 합시다!
(楽しみましょう!)

Hablemos en
español!
(スペイン語で話しましょう!)

スペイン語(入門)



黒沢カルメン先生

Come on in and
enjoy speaking English!
(一緒に英会話を楽しみましょう!)

シニア英会話(水曜・金曜)



ロバート・エバンズ先生

aprendamos disfrutando
el español!!
(楽しくスペイン語を習いましょう)

スペイン語(初級)



アリアス・スレマ先生

我们一起快乐地
学习汉语吧!
(私達と一緒に楽しく勉強しましょう!)

中国語(初級)



張 興艷先生

中国語(入門)



河田 治先生

中国語はとても楽しく
面白いですよ!

国際交流ふれあい講演会

平成18年度の「国際交流ふれあい講演会」は、4月、12月を除いて11回開催しました。特に10月には、岡山を舞台にした推理小説を執筆されたアメリカ在住のイギリス人数学者、ティモシー・ヘミオン氏をお招きし、特別講演をしていただきました。各国の講師の方々の楽しい講演会を通じて、岡山市民と外国人市民との相互理解が深まることを願っています。

5月

ユーリア・ドヴォルオーバさん
「娘を通して見た
～日本とロシアの教育～」



6月

スプリア・ダシャプトレさん
「インドの話」



7月

小原幸・犬飼真由子さん
「中国滞在記
～洛陽で学んだ感謝の気持ち～」



8月

黒沢カルメンさん
「私と日本とパラグアイ」



9月

羅大路さん
「近くて遠い国、韓国
一本当の韓国を味わおう」



特別企画

ティモシー・ヘミオンさん
「推理小説の中の岡山
ーイギリス人数学者が書いた
森本警部シリーズからー」



10月

ギャヴィン・リチャードトーマスさん
「100%ニュージーランド」



11月

劉 英姿さん
「お茶から見た
日中食文化の違い」



1月

チトロ・ラファエレさん
「イタリア文化と
日本文化」



2月

ハッサン・ワエルさん
「エジプト人から見たエジプト」



3月

テッド・ツングさん
「日本の教育について
外国人が思っていて
伝えていないこと」



日本語教室

毎週木曜日には、無料で受講できる日本語教室が、午前、午後、夜間の3コースあります。外国から岡山へ来られ、日本語を勉強したい人たちに大変人気があります。なごやかな雰囲気の中で1日に約100人もの受講生が楽しく勉強しています。また、約20名のボランティアの先生方は頻りに授業研修会を行い、受講生の母国語の特徴なども考えながら、教え方の勉強をし、授業に工夫を重ねています。

楽しいグループ
レッスン



マンツーマンの
指導も



「あくら」のホームページをご覧ください。

http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/salon/akura/akura_index.htm

「あくら」の発行

「あくら」は英語、中国語、ハングル、スペイン語の4ヶ国語に翻訳し、3ヶ月に一度発行している外国人向け情報紙です。市民のボランティア編集員の方が編集会議を行い、地域のイベントや伝統的な文化、岡山の著名人などを取り上げ、記事や内容を決め、取材や編集を行っています。今後も、より多くの外国人市民の皆様の情報源となるような「あくら」作りを目指していきます。



ボランティアによる手作りの
情報紙「あくら」

インターネットサービス

無料インターネットサービスを始めて4年が経過しました。外国人市民の方をはじめ、多くの皆様に大変ご好評いただき、利用者数も年々増加しています。



多言語で使用OK

外国語書籍・雑誌の閲覧・貸出

友好交流サロンでは、日本語のほか、英語、中国語、ハングルなど外国語書籍約2000冊、雑誌15種類、新聞8種類を所蔵し、市民の皆様のご利用をお待ちしています。雑誌や一部の書籍は2週間の貸出も可能となっています。



雑誌は定期的に購入しています

ボランティア活躍記

「子ども国際ホームステイin OKAYAMA 2006に参加して」

ホストファミリー（受入家庭） 伊澤ひとみ

我が家のこの夏の一大イベントであるこのプログラムのために、私は夏の休暇を全てこの一週間にあてました。

日々の忙しさに言葉も十分に伝わらない異国の子供達をどうわが家でもてなせばよいか、十分な計画も立てられないままにその日がやってきました。中2になる娘は、少々反抗期に入り「お母さんが決めたプログラムだから・・・」と気乗りしない様子を見せていたため、相手の方に失礼のないように家族が振る舞ってくれることを願うばかりでした。

娘もプログラムが進むにつれてその内容に興味関心がでてきたのでしょう。日毎に表情が明るくなり楽しそうにする姿が見られるようになりました。今回最も印象的だったこと。それはプログラム最終日プリア（インドから）に「何が一番楽しかった？」と尋ねた際にプリアが答えた内容と娘が答えた内容が同じだったということです。様々なプログラムを組んでいただき、いろいろな体験をした彼女達でしたが今回最も楽しかったイベントは、田舎道ヒグラシの鳴くなか家族全員揃って散歩に出かけたことだと言うのです。近所の小学校でブランコに乗り滑り台を滑っただけの『ブラブラ散歩』でしたが、そのゆったりと流れた時間を彼女たちは最も豊かな時間と感じたようです。家族と過ごす、ゆったりとした時間を貴く感じるのはどの国も同じようです。

今回のこのイベント、わが家の子供達の心にどんな風に映り、どんな風に刻まれたでしょう。また子供達が大きくなり父となり母となった時に再び尋ねてみたいと思っています。



「3平米で国際交流！」

日本語教室講師 坪田 翔子

西川日本語教室で週一回、外国の方に日本語を教えるボランティアをはじめて半年。右も左もわからず、外国の方とどう接したらいいのか…と不安がっていた私も、先輩の先生方にアドバイスをいただいたり、温かい受講生達に励まされながら、最近では楽しく授業をできるようになりました。今では慣れましたが、たった3平米ほどのブースに3～5国籍の人が集まってみんな日本語を話している。こんな光景、なかなか見られません！

私は講師という立場ですが、受講生はそれぞれ違う国で生まれ育ち、日本へやってきて仕事や研究をしているわけですから、当然私よりも人生経験が豊富です。彼らの経験談や、日本や岡山に対する印象を「日本語で」伝えて欲しい。そう思って、毎回自国の文化を日本語で、身振り手振りを交えながら紹介する時間を設けています。彼らと話していると、自分が日本文化や日本語について意外と知らないのだと気付かされることも…。これからも授業に磨きをかけ、出会いを大切にしながら受講生とともに成長していきたいと思っています。



ホットミニ情報

- ◆中国洛陽市教育視察団が来岡し、岡山市長・教育長を表敬訪問しました。 (平成18年5月23日)
- ◆学校法人加計学園招へいの「学生文化研修団」(アメリカ・ブラジル)一行32名が岡山市助役を表敬訪問しました。 (平成18年6月28日)
- ◆西日本旅客鉄道(株)招へいの中国洛陽市政府訪問団・鉄道視察団が岡山市長を表敬訪問しました。 (平成18年9月25日)
- ◆ブルガリア共和国プロブディフ市在住のネデリン・ボヤジェフ氏が、本市で開催の第93回日本エスぺラント大会(10月7日～9日)に参加するため来岡し、イワン・チョマコフ プロブディフ市長の親書を岡山市長に手渡すため来庁しました。 (平成18年10月6日)
- ◆中国洛陽市医療視察訪日団が来岡し、岡山市長を表敬訪問しました。 (平成18年10月31日)
- ◆岡山大学主催の日本語・日本文化体験プログラムに参加する韓国成均館大学一行13名が岡山市長を表敬訪問しました。 (平成19年2月5日)
- ◆韓国富川市正明高等学校の生徒が岡山市長を表敬訪問しました。 (平成19年2月21日)

ふれあい トピックス

○理事会並びに総会開催

岡山市国際交流協議会の平成18年度理事会並びに総会を西川アイプラザで開催しました。

(平成18年4月12日)



○富川商工会議所の岡山市表敬訪問

岡山商工会議所招へいの「富川商工会議所」一行が岡山市を表敬訪問しました。

(平成18年10月19日)



○岡山市外国人市民会議が岡山市へ提言

岡山市外国人市民会議の正副委員長が、これまで2年間の協議を経て24項目にまとめた提言書「外国人市民にも暮らしやすい岡山市をめざして」を高谷市長に手渡しました。

(平成19年2月16日)



岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市大供1-1-1 岡山市役所国際課内

TEL: 086-803-1112

FAX: 086-225-5408

E-mail: kokusaika@city.okayama.okayama.jp

URL: <http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/index.htm>

〒700-0903 岡山市幸町10-16 西川アイプラザ4階 友好交流サロン内

TEL: 086-234-5882

FAX: 086-234-5878

E-mail: oifa@po1.oninet.jp